

道徳通信

～「私の話を聞いてね」～

愛西市立八開中学校

道徳通信

令和3年9月27日

赤ブロック職員No. 1



「人と人が分かりあうために」～道徳「私の話を聞いてね」を通して考えました～

9月から、体育祭・地域奉仕活動の「ブロック」の仲間で道徳の授業を行っています。赤・青・黄それぞれのブロックでの活動は、今までの「クラス」とは違った仲間との活動です。上級生は下級生に伝えることができるでしょうし、下級生からも上級生へ自分の思いを伝えなければいけないこともあるでしょう。互いの思いを理解し合って協力することで、よりよい活動になると思います。そこで、赤ブロックの先生の授業では、「人と人が分かりあうために大切なこと」をテーマに、上級生・下級生混合のグループで、右手に障害がある女性がインターネット上に発信したメッセージを通して、自他の個性や立場を尊重し合って生きることの大切さ【相互理解】について考えました。

1年青 ●● ●●さん

偏見とかそういうのがなくなってほしい。みんなが幸せになることは難しいと思うけど、誰か一人が発信することで、一人でも救われたらいいなと思った。

2年青 ●● ●●さん

自分は、いいところよりも悪いところに目を向けてしまうことが多くて、偏見で人を判断することが多かった。これからは、できることに目を向けたいと思う。

3年青 ●● ●●さん

実際に障がいのあるペイジさんが思いを伝えることで他の誰よりも説得力があると思うので、批判がある中でも発信する事は誰かのためになる大切なことだと思った。

1年赤 ●● ●●さん

差別をする人は、世界中探せばたくさんいるけど少しでも差別する人を減らそうとしていてすごいと思った。私も差別する人が減ればいいなと思った。

2年赤 ●● ●●くん

自分は見せたくないものは隠してしまうので、ペイジさんのようにオープンに意見をしっかり言えるようになりたいと思った。

3年赤 ●● ●●さん

今まで障害のある人たちを見た時、触れてはいけないことだと思い、避けていたけれど逆にそのことは失礼だったのではないかなと思いました。なので、自分と違うということに関心をもってもっと質問して、考えを改めたいなと思いました。

1年黄 ●● ●●さん

自分の意見をしっかり持ちながら、相手の意見を聞くことが大切だと思った。

2年黄 ●● ●●さん

自分の考えも頭の隅に置きながら相手の意見を尊重することが大切だと思いました。他学年の人たちの考え方がよくわかりました。

3年黄 ●● ●●くん

むやみに批判をしない。ただ、それが仲の良い人であったなら批判をしあってわかりあうこともあると思うからそれは臨機応変に。批判はいいが否定はしてはいけない。